

令和6年度 講演会 終了報告

潜在能力開発研究所では、学生、教職員、地域が有する潜在能力の開発を目的とし、高い専門性を持つ講師による講演会を開催しています。

今年度の講演は、管理栄養士・健康咀嚼指導士で歯科管理栄養士コンサルタントの田中美智子先生を講師にお招きし、『乳幼児期に必要な食べる機能と力～食育現場での支援のための基礎知識～』のテーマで、10月14日に開催しました。

当日は、教職員、管理栄養学科、こどもの生活学科、幼児教育学科の学生、地域の保育所等で乳幼児に関わる方々を合わせ、120人が参加しました。

講演内容は、発育発達と口腔および食の問題点、乳児期に必要な食べる機能と力を理解することを目的に、

1. 今の子どもの実状
2. 栄養アセスメント
3. 口腔機能発達のための支援

の3つの項目について、田中先生の豊富な指導経験や事例を交えてお話しいただきました。学生たちは、自分の日頃の食事や実習先での乳幼児の食事環境、食具、姿勢、声掛け、援助などを重ね合わせながら、興味深く耳を傾けていました。また、乳幼児期の食習慣が生涯にわたる健康な体や生活の基盤となるのはもちろんのこと、社会で必要なコミュニケーション能力を育む基礎にもなるというお話は印象深く、食事やその際の乳幼児との関わりの重要性を改めて認識する機会となりました。

参加した学生には、食育や食事援助、さらには子育て支援において、保育・栄養のプロとしての自覚と責任を持って取り組んでいけるよう、今後も研鑽を積んでいってほしいと願っております。

自己紹介

(株) Dental・RD 代表取締役
管理栄養士・健康咀嚼指導士・滋賀県糖尿病療養指導士

- ・滋賀県甲賀市在住
- ・管理栄養士として病院・事業所・行政に勤務20年。保健所勤務時に歯科保健に関わり、健康咀嚼指導士を取得。その後歯科業界に活動を広げる。
- ・2012年より、フリー管理栄養士となり診療所・産婦人科・歯科医院・保健センターに離乳食教室・栄養指導をする。乳幼児の離乳食指導・食指導は延べ3000名以上「食べない」「噛めない」子どもの悩みを聞き、解決策を具体的に実習を交えながら伝える。
- ・そのような悩みの現場において離乳食教室、セミナー、講演活動は県内外にも行うようになる。
- ・2016年より京都栄養医療専門学校非常勤講師として勤務。
- ・歯科医院に勤務する栄養士の個別教育・実践塾主催：離乳食教室指導、企業の食育コンサルタント、保育園給食コンサルタントも行う。
- ・2023年1月 (株) Dental・RD設立

食べる機能が育たないと影響すること

- 噛まない**=奥歯ですりつぶすことができない
⇒**まるのみ⇒オエッとしやすい(食べられない)**
×バサバサ系(低脂肪の肉や魚、食パン)
×スジスジ系(葉物野菜、固まり肉)
×弾力&硬い系(骨ごと食べる魚、)
×うすあじ
⇒高脂肪・高カロリーばかり⇒**体調不良、生活習慣病**
- 唇、顎、舌の動きが未熟**
⇒食具がうまく使えない、詰め込み、早食い、食事に時間がかかる、食べこぼす
- 顎の発達不良：歯列不正、鼻づまり、睡眠不良**
⇒落ち着きがない、集中力がない

➡**成長発達に影響が出る**

